

かゑらじと かねて思へハ 梓弓
なき数に入る 名をぞとどむる
四條畷に散った若き武将、楠正行

楠正行通信 第95号

令和1年9月10日

発行＝四條畷楠正行の会

〒575-0021 四條畷市南野5丁目2番16号

四條畷市立教育文化センター内 072-878-0020

湊川神社夏祭りで、楠公さんかるた会開催

優勝景品の大将絵札選択に悩む子どもたち

— 8/24 22人の参加を得て楽しく遊ぶ —

● 熱闘将棋！湊川の陣と併催 ●



毎年恒例の「夏祭り」が開催されている湊川神社（神戸市）で、8月24日（土）、「熱闘将棋！湊川の陣」と銘打って、こども将棋教室・女流棋士に挑戦！！・プロの卵奨励会員に挑戦！の将棋イベントと併催する形で「楠公さんかるた会」（くすのきまさつらかるた）が開かれました。

開会の午後4時前には、会場となる社務所1階の和室に事前申し込みのあった親子連れが次から次へと集まり、浴衣姿の上流棋士の



棋ブームの一端を垣間見ました。

● 二人の女流棋士の司会で始まる ●

最初のプログラムは、村田智穂女流二段（写真右）と室田伊緒女流二段（写真左）の二人による将棋解説とマナー講座です。

将棋対局の始まりの挨拶の仕方に始まり、コマの種類と動かし方とそのコマの特徴、将棋盤への並べ方が楽しく解説されました。全くの初心者の子どももいましたが、女流棋士の質問に「はい！」と的確に回答する凄腕の子どもも何人かみられ、昨今の将



● 身体を前のめりに競技に熱中 ●

そして、マナー講座が終わり、半数の子どもたちはプロの先生による指導対局を受け、半数の子どもたちは隣室のかるた会会場に移動しての「楠公さんかるた会」の始まり

です。

参加の動機が将棋メインの子どもさんが多く、中には、先に将棋を指したいとぐずる子どもさんもいましたが、何とかかるた会も始まりました。

土井さんの読みに合わせてカルタ取りが始まると、少しづつ体が前のめりになり、字札の読みをしっかりと聞きながら、「はい！」と元気よかるた取りに興じていました。

最後、絵札が2~3枚になると、お手付きのから字札も取り入れ、無い絵札を「はい！」とお手つきする子も出てくる中、笑いの中、楽しく終了。

一番多く絵札を取った子どもには景品の大打絵札を選んでもらいましたが、持参した5種類の絵札を、どれにしようかと迷い、「これ！」と決めるまでにしばらくの静寂の時間がありましたが、どの札も魅力的と感じてくれたようで、正行の会にとっては嬉しい時間でした。

● 観戦者も熱中 ●

後半の入れ替え戦は、人数が多く、2グループに分かれて、国府さんの読みに「はい！」と、それぞれ元気よかるた取りを楽しんでくれました。

保護者や会場を訪れた多くの将棋ファンも遠巻きに観戦。最近、かるた遊びも珍しくなったのか、「おお～！かるた！」と懐かしそうに眺める高齢者の姿も散見。

子どもたちの競技を優しく見つめる保護者の方、一方、鋭い視線を送り、しっかり取りなさいと促しているような保護者の方も居られ、楽しい中にも緊張のある会場となりました。

● 嬉しい、和服姿の大人の登場も ●

午後6時を過ぎ、大人4人によるカルタ取りが始まりました。

浴衣姿の二人の女性と和服姿の二人の男性によるカルタ取りで、演出効果満点の光景が広がり、子どものかるた遊びとは一味もふた味も違うムードが漂う中、女性リードで進行。

途中、特徴のある絵札については、かるた取りを中断して、扇谷が解説を入れる趣向を凝らし、「なるほど！」「知らなかった？」などの反応を見ながら、かるた遊びを通した正行顕彰の一定の手ごたえを感じました。

このグループは、一人の女性が最も多く絵札を集めて、景品の大打絵札をゲットしましたが、大学で歴史を専攻し、おまけにカルタ競技もしていたとのこと。どうりで、絵札

を取る手さばきがどこか違うと思いました。

● かるた会目的の親子も参加 ●

しばらくすると、「かるた会の会場はどこですか？」と、親子三人が会場の和室に入ってこられました。

嬉しい申し込みに、親子三人で競技を始めようとする、「私、もう一回してもいいですか。」「僕もー。」と3人の子どもが集まり、結局、4人の子どもで競技を開始しました。



親子連れの子どものさんは3歳の男の子で、お母さんが、「はい！」と子どもさんに代って絵札を取る違反(!?)も。また、一枚でも多くとりたいと、座布団から前に乗り出し、絵札の真上に手を出し、手をまわしながら絵札を探す子どももいて、判定役の山添さんが「手は、身体の横に。」と注意する一幕も。

終って、景品の大打絵札を前になかなか決められないお兄ちゃんに、「はよ、決め！」とじれる一幕もありましたが、ここでも5種類の絵札に甲乙つけがたいと悩む子どもの姿が、この正行カルタの出来栄を象徴してくれました。

結果、この日の楠公さんかるた会への参加は、小学生を中心に子どもさんが18人、大人が4人の合計22人でした。

ご来場いただきました皆さん、ありがとうございました。

● 普段と違う装いの湊川神社 ●

湊川神社は何度も訪れていますが、今日の風景は、いつもの風景とは全く違うものでした。境内参道左右には3000個の提灯が立ち並び、その後ろには人出でにぎわう屋台が所狭しと数多く営業。

本社の前には屋台が組まれ、「浴衣で踊ろう！御前踊り」の踊りの輪が作られ、人手で境内は足の踏み場もない状況。

この湊川神社夏祭りは、8月22日から5日間にわたって行われたものです。

「熱闘将棋！湊川の陣」「楠公さんかるた会」も無事終わり、垣田宮司、鈴木室長にお礼のご挨拶を申し上げて、湊川神社を後にしました。

(写真：表面二人の女流棋士は湊川神社ホームページより転載、その他はいずれも会場でのかるた競技の風景)

(文責『四條畷楠正行の会』代表 扇谷昭)